



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 I M V 株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫
(J A S D A Q ・ コード 7 7 6 0)
問合せ先
役職・氏名 取締役専務執行役員管理本部長 中村 雅彦
電話番号 0 6 - 6 4 7 8 - 2 5 6 5

平成 18 年 9 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 9 月期(平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)の業績予想について、平成 18 年 5 月 19 日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 9 月期業績予想の修正(平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想(A)	5,703	700	414
今回修正(B)	4,950	610	330
増減額(B-A)	753	90	84
増 減 率	13.2	12.9	20.3
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	5,088	621	476

(単独)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想(A)	5,700	669	398
今回修正(B)	4,950	570	340
増減額(B-A)	750	99	58
増 減 率	13.2	14.8	14.6
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	5,084	584	458

2. 修正理由

(連結)

振動シミュレーションシステムの分野において、中間連結会計期間に見られた受注遅れの影響を解消すべく早期の受注・出荷に努め、その成果は受注残高の増加等に現れておりますが、一部特注案件の仕様決定に時間を要したことに加え、期末出荷製品の客先での検収が遅れたことも重なり、中間連結会計期間の落ち込みを取り戻すには至りませんでした。

以上により、売上高は4,950百万円となる見込みであります。

利益面では、新本社・工場取得に伴う償却負担の増加、人件費の増加等がありましたが、子会社である日東精機株式会社が同一敷地に移転したことによる運送費等の減少、賃貸収入等もあり、経常利益は610百万円となる見込みであります。

また、当社の退職金制度が確定拠出年金制度に移行したことに伴う特別利益の計上がありましたが、子会社の遊休資産である土地・建物の減損損失及び固定資産除却損等の特別損失の発生があり、当期純利益は330百万円となる見込みであります。

(単独)

子会社の遊休資産に係る減損損失を除き、連結の修正理由と同様であります。

3. その他

当期の配当につきましては、普通株式1株当たり4円の予定に変更はございません。なお、本件に伴い中期事業計画(2005年9月期～2008年9月期)を修正する予定であり、詳細につきましては、決算発表日である平成18年11月17日に開示する予定であります。

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以 上